

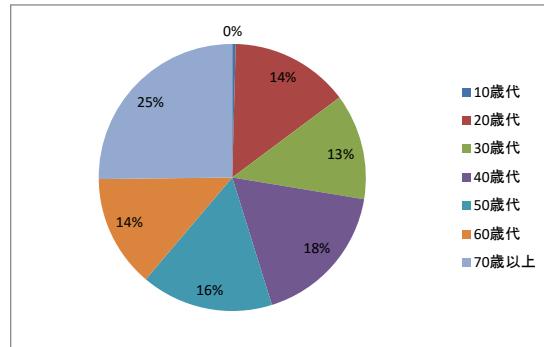
第14回 金沢の工芸

【アンケート実施期間】 令和6年12月13日～令和6年12月26日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に対する関心、使用状況等について、市民の意見等を聞き、今後の施策の参考とする。

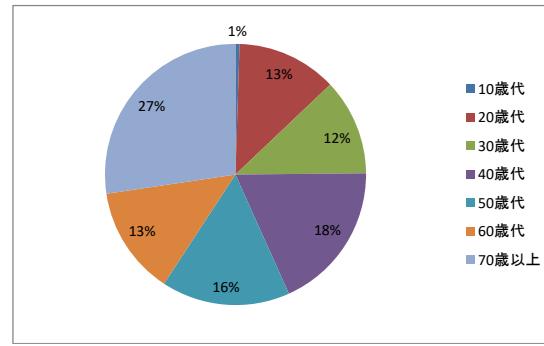
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	1	0.4
20歳代	36	14.4
30歳代	32	12.8
40歳代	44	17.6
50歳代	40	16.0
60歳代	34	13.6
70歳以上	63	25.2
計	250	100.0



【回答者数】 201 名

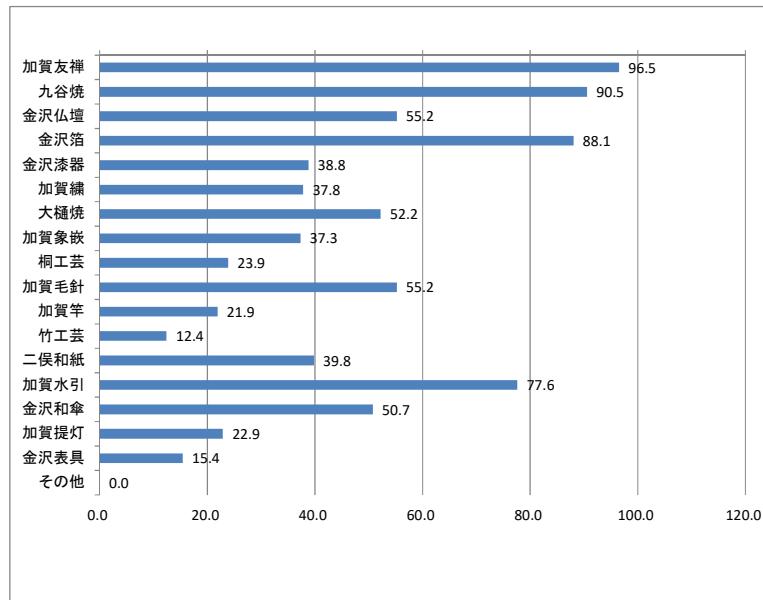
内訳	人数	%
10歳代	1	0.5
20歳代	25	12.4
30歳代	24	11.9
40歳代	37	18.4
50歳代	32	15.9
60歳代	27	13.4
70歳以上	55	27.4
計	201	100.0



【回答率】 80.4%

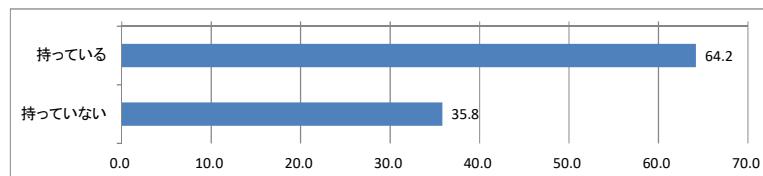
問1 「金沢の工芸」で知っているものはどれですか（複数回答可）

回答	人数	%
加賀友禅	194	96.5
九谷焼	182	90.5
金沢仏壇	111	55.2
金沢箔	177	88.1
金沢漆器	78	38.8
加賀繡	76	37.8
大槌焼	105	52.2
加賀象嵌	75	37.3
桐工芸	48	23.9
加賀毛針	111	55.2
加賀竿	44	21.9
竹工芸	25	12.4
二俣和紙	80	39.8
加賀水引	156	77.6
金沢和傘	102	50.7
加賀提灯	46	22.9
金沢表具	31	15.4
その他	0	0.0



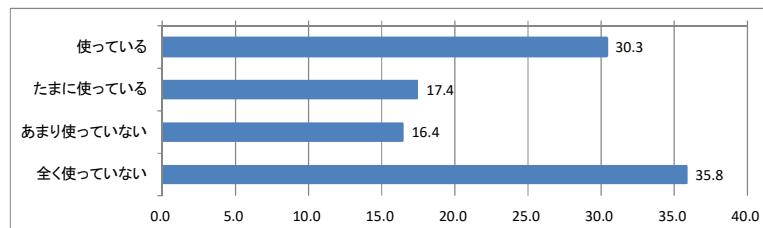
問2 金沢の工芸品をお持ちですか

回答	人数	%
持っている	129	64.2
持っていない	72	35.8



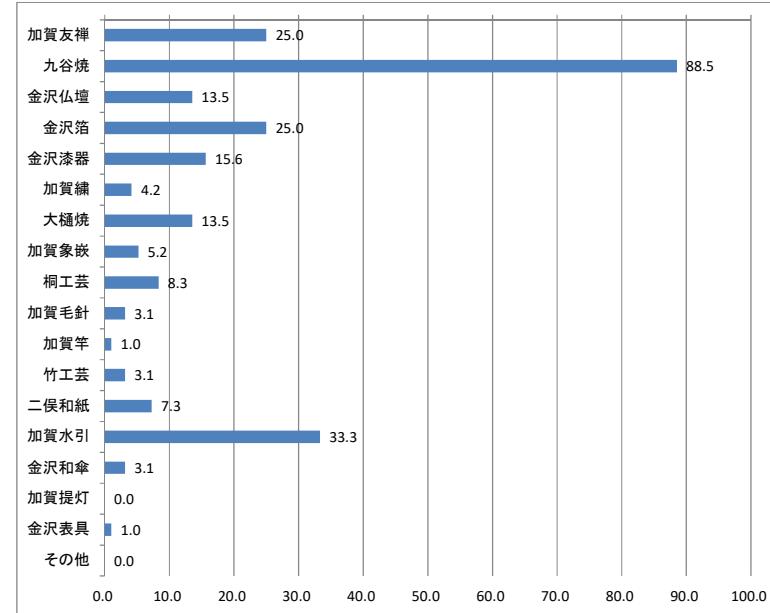
問3 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

回答	人数	%
使っている	61	30.3
たまに使っている	35	17.4
あまり使っていない	33	16.4
全く使っていない	72	35.8



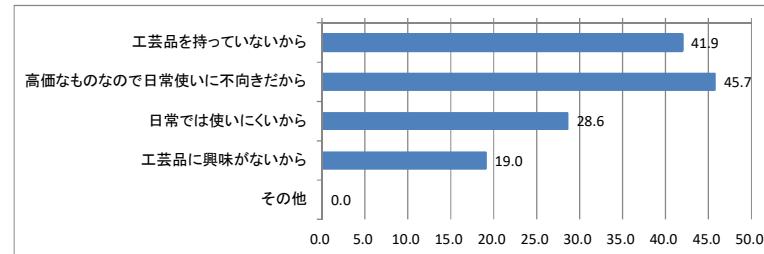
問4 (問3で「使っている」「たまに使っている」と答えた人) 日頃使っている金沢の工芸品はどれですか (複数回答可)

回答	人数	%
加賀友禅	24	25.0
九谷焼	85	88.5
金沢仏壇	13	13.5
金沢箔	24	25.0
金沢漆器	15	15.6
加賀織	4	4.2
大樋焼	13	13.5
加賀象嵌	5	5.2
桐工芸	8	8.3
加賀毛針	3	3.1
加賀竿	1	1.0
竹工芸	3	3.1
二俣和紙	7	7.3
加賀水引	32	33.3
金沢和傘	3	3.1
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	1	1.0
その他	0	0.0



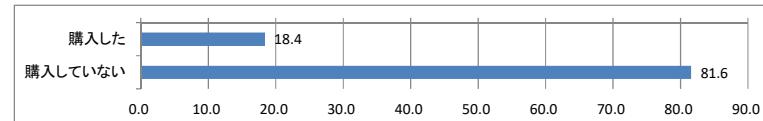
問5 (問3で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人) 金沢の工芸品を使わない理由は何か (複数回答可)

回答	人数	%
工芸品を持っていないから	44	41.9
高価なものなので日常使いに不向き	48	45.7
日常では使いにくいから	30	28.6
工芸品に興味がないから	20	19.0
その他	0	0.0



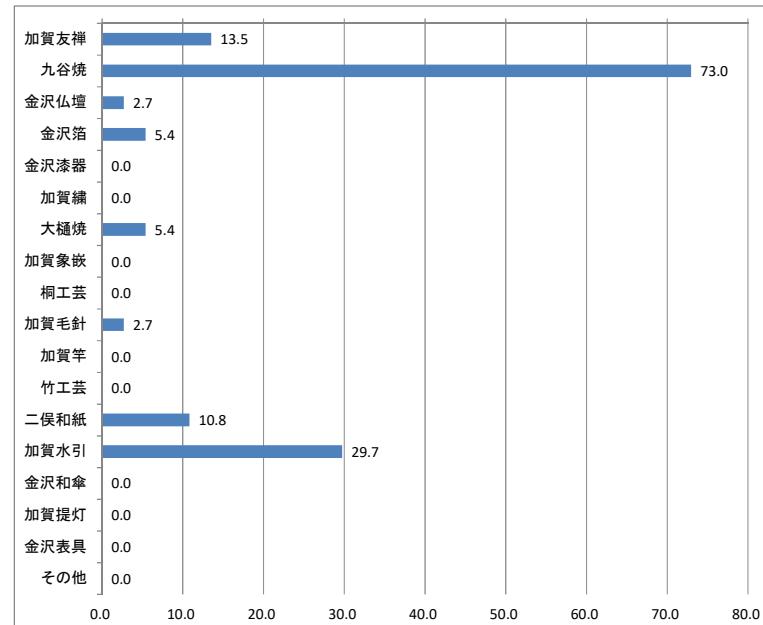
問6 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか

回答	人数	%
購入した	37	18.4
購入していない	164	81.6



問7 (問6で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか (複数回答可)

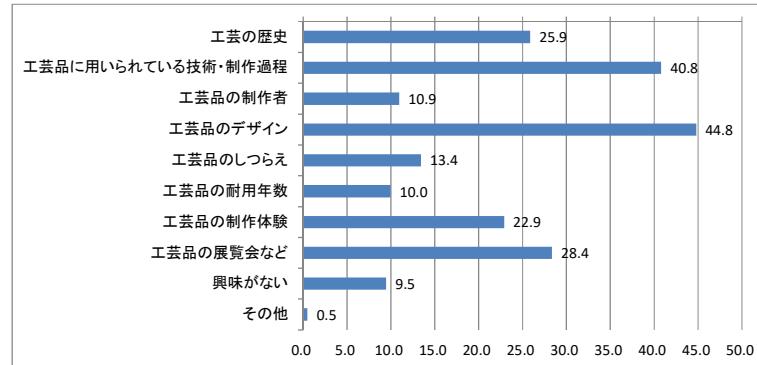
回答	人数	%
加賀友禅	5	13.5
九谷焼	27	73.0
金沢仏壇	1	2.7
金沢箔	2	5.4
金沢漆器	0	0.0
加賀繡	0	0.0
大槌焼	2	5.4
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	1	2.7
加賀竿	0	0.0
竹工芸	0	0.0
二俣和紙	4	10.8
加賀水引	11	29.7
金沢和傘	0	0.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
その他	0	0.0



問8 金沢の工芸品について、興味のあるものはどれですか（複数回答可）

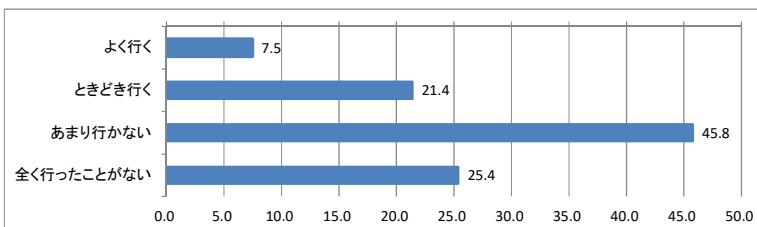
回答	人数	%
工芸の歴史	52	25.9
工芸品に用いられている技術・制作	82	40.8
工芸品の制作者	22	10.9
工芸品のデザイン	90	44.8
工芸品のしつらえ	27	13.4
工芸品の耐用年数	20	10.0
工芸品の制作体験	46	22.9
工芸品の展覧会など	57	28.4
興味がない	19	9.5
その他	1	0.5

※その他…購入方法、販売店



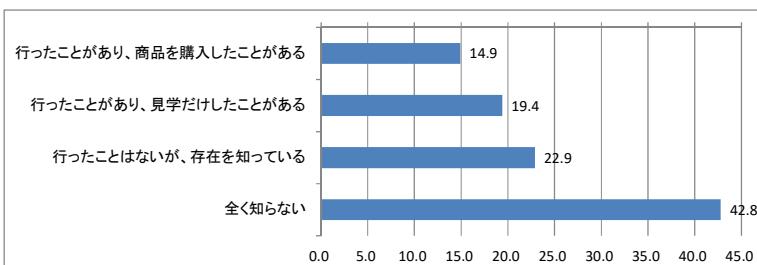
問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか

回答	人数	%
よく行く	15	7.5
ときどき行く	43	21.4
あまり行かない	92	45.8
全く行ったことがない	51	25.4



問10 「金沢・クラフト広板」に行ったことはありますか

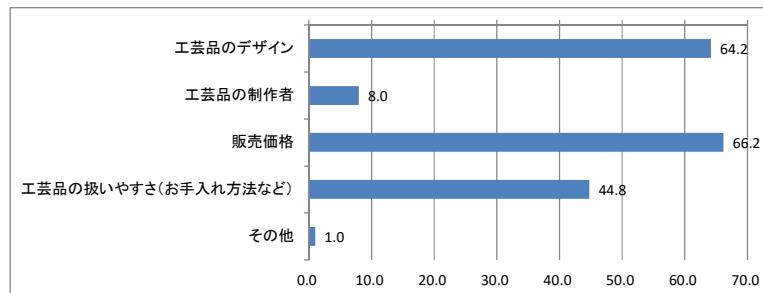
回答	人数	%
行ったことがあり、商品を購入した	30	14.9
行ったことがあり、見学だけした	39	19.4
行ったことはないが、存在を知ってる	46	22.9
全く知らない	86	42.8



問11 工芸品の購入を検討するときに何を重要視しますか（複数回答可）

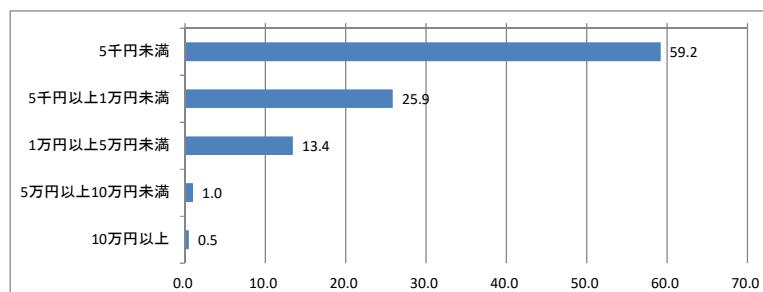
回答	人数	%
工芸品のデザイン	129	64.2
工芸品の制作者	16	8.0
販売価格	133	66.2
工芸品の扱いやすさ（お手入れ方法）	90	44.8
その他	2	1.0

※その他…用途、関心がない



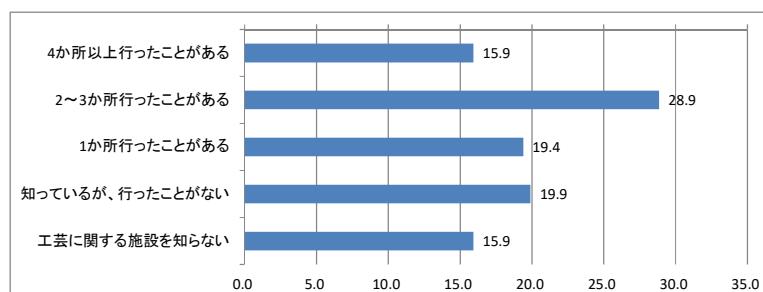
問12 購入を検討する工芸品の価格帯を教えてください

回答	人数	%
5千円未満	119	59.2
5千円以上1万円未満	52	25.9
1万円以上5万円未満	27	13.4
5万円以上10万円未満	2	1.0
10万円以上	1	0.5



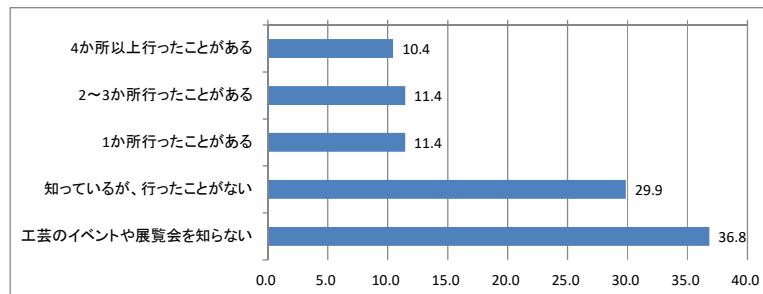
問13 国内の工芸に関する施設（国立工芸館、石川県立伝統産業工芸館、金沢市立安江金箔工芸館など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	32	15.9
2~3か所行ったことがある	58	28.9
1か所行ったことがある	39	19.4
知っているが、行ったことがない	40	19.9
工芸に関する施設を知らない	32	15.9



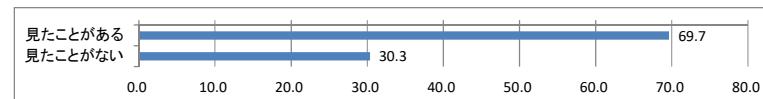
問14 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはあります

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	21	10.4
2~3か所行ったことがある	23	11.4
1か所行ったことがある	23	11.4
知っているが、行ったことがない	60	29.9
工芸のイベントや展覧会を知らない	74	36.8



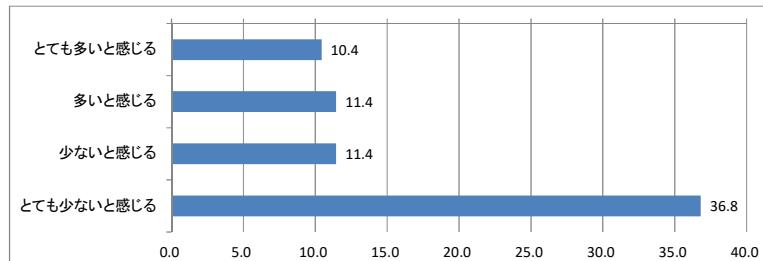
問15 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	140	69.7
見たことがない	61	30.3



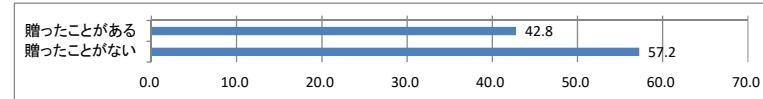
問16 子どもが工芸に触れる機会は多いと思いますか

回答	人数	%
とても多いと感じる	21	10.4
多いと感じる	23	11.4
少ないと感じる	23	11.4
とても少ないと感じる	74	36.8



問17 家族や友人などのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか

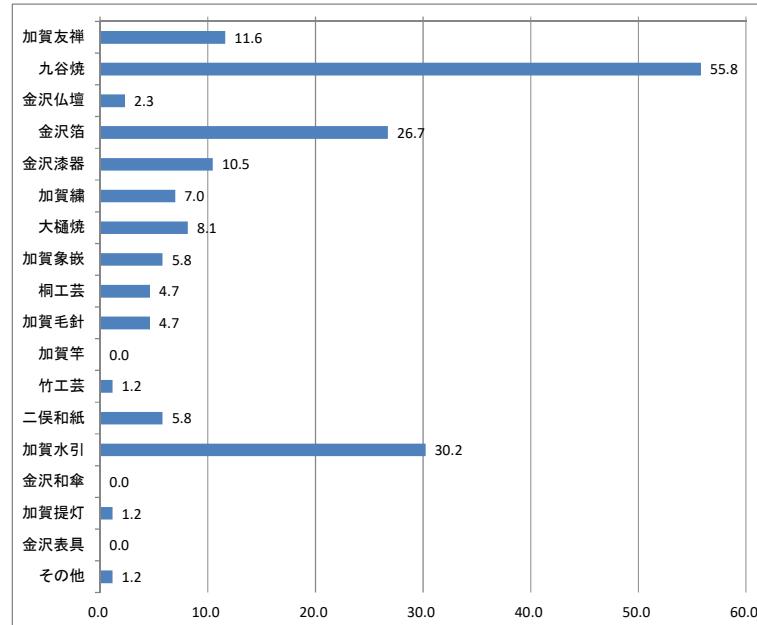
回答	人数	%
贈ったことがある	86	42.8
贈ったことがない	115	57.2



問18 (問17で「贈ったことがある」と答えた人) プレゼントした工芸品はどれですか (複数回答可)

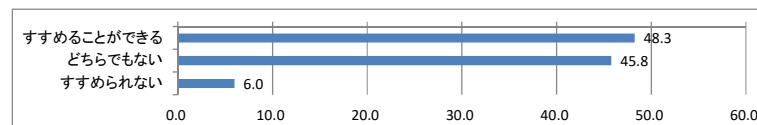
回答	人数	%
加賀友禅	10	11.6
九谷焼	48	55.8
金沢仏壇	2	2.3
金沢箔	23	26.7
金沢漆器	9	10.5
加賀繡	6	7.0
大槌焼	7	8.1
加賀象嵌	5	5.8
桐工芸	4	4.7
加賀毛針	4	4.7
加賀竿	0	0.0
竹工芸	1	1.2
二俣和紙	5	5.8
加賀水引	26	30.2
金沢和傘	0	0.0
加賀提灯	1	1.2
金沢表具	0	0.0
その他	1	1.2

※その他…信楽焼



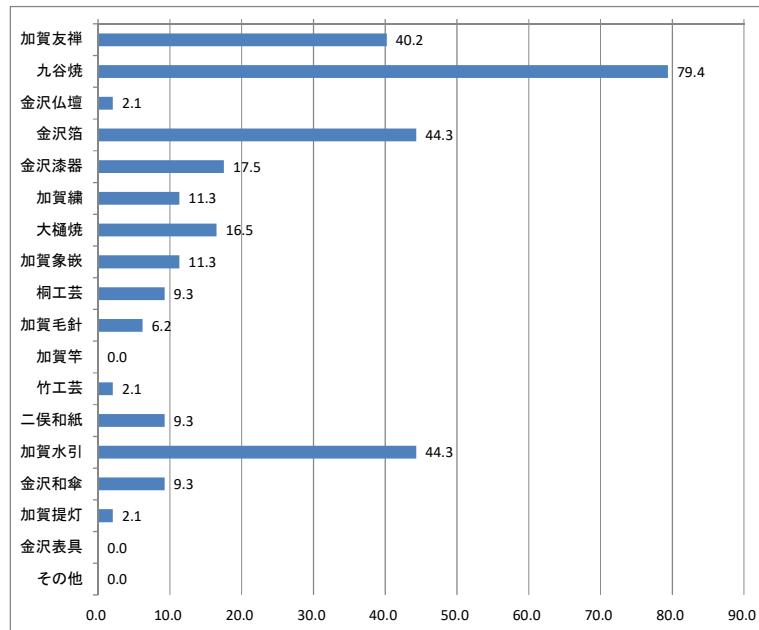
問19 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

回答	人数	%
すすめることができる	97	48.3
どちらでもない	92	45.8
すすめられない	12	6.0



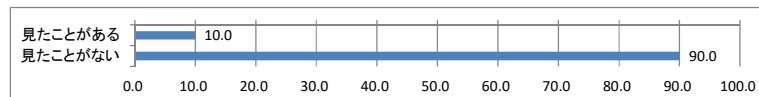
問20 (問19で「すすめることができる」と答えた人) 市外の人に購入をすすめたい工芸品はどれですか (複数回答可)

回答	人数	%
加賀友禅	39	40.2
九谷焼	77	79.4
金沢仏壇	2	2.1
金沢箔	43	44.3
金沢漆器	17	17.5
加賀織	11	11.3
大槌焼	16	16.5
加賀象嵌	11	11.3
桐工芸	9	9.3
加賀毛針	6	6.2
加賀竿	0	0.0
竹工芸	2	2.1
二俣和紙	9	9.3
加賀水引	43	44.3
金沢和傘	9	9.3
加賀提灯	2	2.1
金沢表具	0	0.0
その他	0	0.0



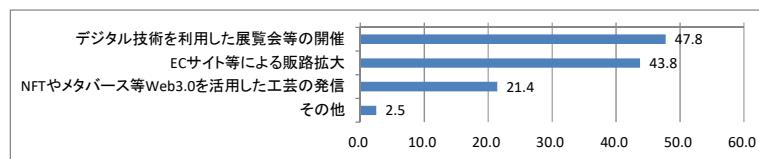
問21 「金沢市デジタル工芸展」のWebサイトを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	20	10.0
見たことがない	181	90.0



問22 デジタル技術を工芸分野でどのように活用できると思いますか (複数回答可)

回答	人数	%
デジタル技術を利用した展覧会等の開催	96	47.8
ECサイト等による販路拡大	88	43.8
NFTやメタバース等Web3.0を活用し	43	21.4
その他	5	2.5



※その他…わからない、技術継承、職人技術・ノウハウの記録

問23 金沢の工芸について、ご意見等がありましたらご自由に記入してください(200字以内)

特典。
高価な特別な物なので普段使う事が無かったが、アクセサリーや小鉢等小さなものから生活に取り入れていきたい。
工芸に限ったことではないがどこで何をしているのか関わっている人しか知らない、回りを寄せ付けにくい雰囲気がある閉鎖的なイメージ。もう少し敷居を低く新規参入しやすい環境あればと思います。
もう少し身近なお店に安価で置いてあると貰えると思います。
日常的に馴染みがなかったが、工芸館を訪れたことがないので行ってみたい。
金沢市民よりも観光客に工芸品をアピールして欲しい。
高いのは仕方がないが、もう少し気軽に接することができ、購入できる価格帯などの設定も考えて欲しい。
地元で作られた品はもっとお安く提供して頂ければ普段でも使用できると思いますが。手間のかかるものは中々使用できません。
現代ではWeb、ネットを活用して認知度を広げていくのが有効だと私は思います。
沢市デジタル工芸展は知らなかったのですが今見てきましたが、すっきりした作りで上品な感じでとても作品が映えてよいとおもいました。
金沢の工芸については、一般市民レベルにおいて、その歴史的な発展経緯、その価値などについて、詳しく知っている人は少ないように感じている。素晴らしさを知るための機会を増やす(〇〇工芸展、制作体験、教室等)施策を、より増やすことが必要かと感じています。
金沢の工芸品には魅力的なものが多いと感じますが、我々庶民が普段の生活の中で日常的に使えるものは価格の面や実用性の観点から限られる気がします。
工芸についての情報がどこで発信されているのか分からぬいため、イベントなどが開催されていることを全く知らなかった。
金沢箔、水引は観光客にも人気ですが、加賀毛針や竿などは鮎釣り愛好家の一部の人しか知らないのではないかでしょうか。
金沢工芸は伝統として古くから続いています、後継者が後を継ぎ絶やさない取り組みも市のお仕事としてお願いします。
お手ごろの価格の物も沢山ありますので多くの方々に普段使いしていただきたいです。
工芸品は高いと言われる事もありますが、手間をかけて作られる良さがあります。私事ですが、茶道具や着物などは長く使って愛着がわきます。このことを多くの方に知って欲しいと思います。
手間と時間のかかる工芸品を安売りせずにすむ仕組みが必要と感じます。
工芸品いとうと高級なイメージがありますが値段も幅があるので普段使いができるような物がもっと多く市場に出ると嬉しい。
生活様式が変化しているので、どの工芸品も現代に合うデザインの工夫が必要です。また、加賀縫がもう少し安価であれば手に入れたいと思う素晴らしい技術です。PRがもっと必要です。
後継者育成 心配です。
金沢には移住してきた身なのですが、金沢は文化度が高いと感じています。特に工芸品をお土産感覚でも手にできることは素晴らしいと思います。個人的に工芸品への興味もあり、九谷焼体験ができる場所を探したり、実際に足を運んだりもしていますが、もう少しうまいたった体験教室のような場所が増えると嬉しいです。
もっと触れる機会がいろいろあると良い。
金沢の工芸品が日用品的・日常的に購入使用できれば良いと思います。
東京に住んでいるお友達に水引のペンダントを贈ったことがあります。とても素敵と喜ばれた。先日東京に行った際も、別の友人に素敵やと言われた。もっと色々広めたい。
特になし。
最近は地元民より、観光の方々がより興味を持っている気がします。私自身も金沢検定を受検して知った事が多かったです。
沢山の人に知ってもらうと同時に、それを継承していく人、環境にもフォローして欲しいと思います。
私は加賀手まりを習っているのですが、加賀手まりは、金沢の工芸にはならないのでしょうか。
あまり触れる機会がないので無料の駐車場の広い場所で工芸展をしてほしいです。
知名度は致し方ないですね。九谷焼や加賀友禅はメジャーですし。むしろ、地元でもマイナーで知らない工芸分野がたくさんあることに驚き。あ、これ、金沢工芸っていうんだ、と。
行政が県外への発信が必要。
特にありません。
もっと斬新なデザインであっても良いと思います。
加賀友禅のお着物はずっとほしいと思っていますが、高級なため、手がでません。彩色体験をしたことがあります、とても興味深く思いました。もっとさまざまな体験をさせてもらいたいです。
石川・加賀の中でも、とりわけ金沢ならではという特長が分かるアピールポイントがあると訴求しやすいのではと思います。
インバウンドに向けた体験イベントなどのアピールの不足があると思う。
金沢の工芸品は比較的に高価なので、購入が難しい。ならば展示会なので鑑賞を楽しむしかない。それは都合の良い時期しかできないので、展示会の機会をなるべく多くすることが望まれる。
工芸品の良さがいまいちわからない。
興味のない人に届ける方法は難しいと思うので、日本全国または世界(インバウンド含む)の人で興味のある人にいかに届けるかを考えた方が良いと思う。
東茶屋街で金箔製品や施設を見たが、集客力ある場所に、展示・販売ショップを開設すれば、知名度アップに寄与すると思う。
伝統工芸を維持して行くには 官側の 補助 支援が必要かと思います。
特になし。
工芸品は高価というイメージがあり、日常生活において必要を感じないので非欲しいという感情はありません。金沢の工芸品は素敵なものかもしれません私が私にしたら贅沢品である為欲しいという購買意欲もありません。でも伝統工芸は伝承して欲しいです
気軽に行きやすい所があると嬉しいです。
日用品に落とし込むには廉価な価格及び製品の耐久性が必要だと感じます。伝統として後世に引き継いでいくのなら、観賞用として子供の頃から工芸品に親しむことが必要だと思います。
金沢の工芸品の水引を、ボランティア活動として、外国人に、毎週金曜日水引体験を指導しております。
興味関心がない。特に若い人はそういう人がほとんどではないかと思う。

中高生をターゲットに後継者を育てる環境整備をして技術者の若年化を図る。
格調が高いところがあると思う。が、逆にそこが入りにくい一面になるのかなとも。
水引や毛針を使ったアクセサリーなら買ってみたいと思うが、肝心の携わっている方達が消極的な気がする。以前、加賀毛針が駅で売られているのを見て、あまりの美しさに写真を撮ってもいいかと聞いたら、断られた。お高く止まってるんじゃないのと思ったし、何様?と思ってしまった。広めようという気がないのなら、周りが何をしてもダメだと思う。
職人さんの生活があるから、仕方ないけど素敵だけど高価なので、購入に至らない事が多い。本当は、生活にもっと取り入れたいが、食洗機使えないとか、汗に弱いとか、色々制約があり、購入を躊躇する。金沢市民が、購入するのは加賀水引のポチ袋、桐工芸のコースター、二俣和紙のレターセット位でしょう。家庭画報を見る国内の富裕層、外国人観光客に買ってもらいましょう。
歴史があり素晴らしい。
金沢市民に、工芸品毎に広報活動(紙面、金沢誌、看板、TV等)掲示して啓発して下さい。
後継者の育成に力を入れてほしい。
金沢在住として県外の知人に工芸品の情報等を発信していきたいし自分も日常生活に多くのものを取り入れていきたい その為に見聞を広げていきたい。
九谷焼が素敵です。
加賀水引は結婚する時利用しました。 需要が無くなれば消滅します。工芸品だから残さなければならぬと考えてはいけません。工芸品は実用品であり、需要があれば残りますし、発展もするでしょう。絶滅したら、博物館で保存して後世に伝えるといいと思います。和紙でモノ作りしてのテレビで見ました。販売チャネルを拡大する支援をしてあげて欲しいですが、ハコモノで何らかの成果があるといいですね。
工芸品は展示会やイベントに出かけた時などで興味深く拝見します。 子どもの頃から知ってるモノもあれば、驚くような新しいモノにも出会います。
古きモノにも新しいモノにも美しさに感動があります。たくさんの方々が見て知っていただく機会が増えることが、長く引き継がれていく事と大事なことだとしみじみ感じるこの頃です。その場所に行けなくても知る機会はたくさんある事はいいですね。
もっと普段使いができるような工芸品を普及させていただきたい。「民芸」の考え方。
子どもの頃に知らなくて大人になって知ったもの、大人になっても知らなかったものがあるからもっと子どもが存在自体を知るきっかけになる何かがあればいいなと思う。 知っていればその工芸の将来の担い手になる可能性もあるし、と思っている。
金沢湯涌創作の森のような施設で、県内外から集客できるような伝統工芸品の体験イベントや作品展など今後もして欲しいです。
どれも見るにはいいけれど、普段使いできるものではない。工芸というより芸術になっていると思います。
工芸品は実用品であり、必要性があれば発展するし必要でなければ廃れます。廃れる前に、制作技術を記録し博物館で保存するといいと思います。
特にない。
九谷焼がヌーベルなどとコラボして楽しいです。
加賀友禅、九谷焼以外は正直馴染みがありませんでした。一部の市民だけが知っているという感じなのでしょうか。
どれも高すぎるでの贈り物にも躊躇してしまう。でも制作現場などとても興味があるので実際に見たら食指が動くかもしれない。
職人が少なくなっていると聞いたことがあるので、高校生など若い人に向けて周知していくことが必要だと思います。
器以外の工芸品は自分には遠い存在でどう使われているか想像できず、実際に使われている様子をいろいろ紹介してもらえると興味を持つ切っ掛けになるんじゃないかなと思いました。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今回いただいたご意見は、当制度の次年度以降の運営の参考とさせていただきます。